

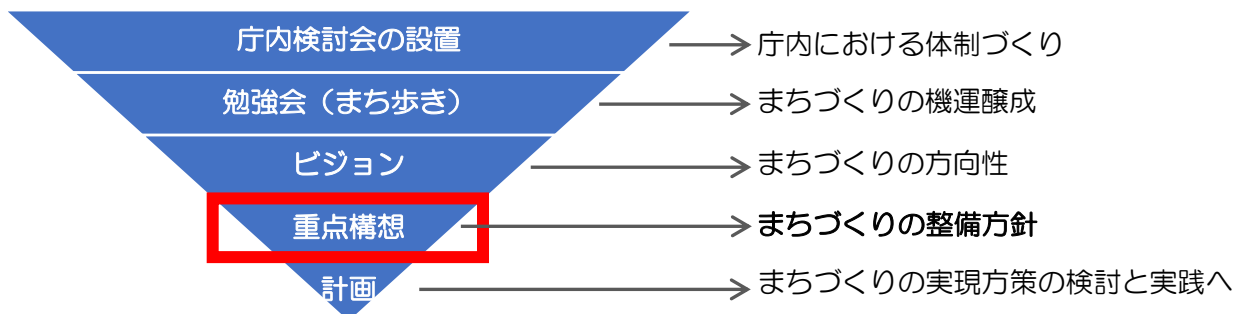
「(仮)富士見台地域重点まちづくり構想」の策定について

1 富士見台地域のまちづくりの取組背景

- 富士見台地域は、市のほぼ中央に位置し、国立市制のきっかけとなった国立富士見台団地があります。また、市民生活を支える公共施設が集積しています。
- このように、富士見台地域は、国立市の暮らしの中核となる住宅市街地として発展してきましたが、高齢化、公共施設や住宅等の経年変化が進展しているため、公共施設の再編、大規模団地の再生計画の進捗と共に取り組むまちづくりの推進、だれもが住み続けられる地域包括ケアシステムの実現などが喫緊の課題となっています。
- 富士見台地域は、市の中核となるまちであることから、こうした課題の解決に向けた取組が、本地域のみならず、他地域の暮らしの向上にもつながり、大きな波及効果が期待できます。
- 超高齢社会・人口減少社会におけるまちづくり、国立市におけるまちづくりをけん引する先行モデルを示すことにもつながります。

2 取組の全体像

平成 26(2014)年度	○「富士見台地域まちづくり庁内検討会」の設置
平成 27(2015)年度	○「富士見台地域まちづくり勉強会（まち歩き）」の開催
平成 28(2016) ～29(2017)年度	○「富士見台地域まちづくりビジョン」策定
平成 30(2018) ～令和 2(2020)年度	●「(仮)富士見台地域重点まちづくり構想」の策定（検討中） （※）「富士見台地域まちづくりキックオフ講演会」の開催 （平成 30(2018)年 7月）



3 富士見台地域まちづくりビジョンの策定（平成 30(2018)年 2 月）

<まちの将来像>

「人が主役、多彩な暮らしが重奏するまち 富士見台」

～誰もが、生き活きと交流し、互いに支え合い、彩り豊かな暮らしを安心・安全・快適に楽しみつづけられるまち～

<将来像を実現するための 11 の取組>

No	まちづくりの取組	No	まちづくりの取組
①	(重点まちづくり) 公共施設の再編、及び、シビックセンター(公共施設の集積した地域)の整備	⑦	(重点課題) 富士見台地域における地域包括ケアの推進
②	(重点まちづくり) 大規模団地の再生計画の進捗と共に取り組むまちづくりの推進	⑧	若年層・子育て世代を積極的に呼び込むまちづくり
③	緑や農の保全、景観形成、環境に配慮したまちづくりの推進	⑨	駅前の新たなにぎわい創出
④	まちづくり条例との連携による良好な街並みや用途の誘導	⑩	安心・安全なまちづくりの推進
⑤	さくら通りの再整備による歩いて楽しい歩行者ネットワークの形成	⑪	市民の知恵・アイデア・ノウハウをまちづくりの実践につなげる検討の場づくり
⑥	コミュニティや市民の活動を支える地域交流拠点の確保		



国立市富士見台地域まちづくりビジョン（案）に関する懇談会（平成 29(2017)年 6 月）

4 「(仮)富士見台地域重点まちづくり構想」の策定について

(1) 構想策定の目的

○まちの将来像の実現に向け、「富士見台地域における地域包括ケアの推進」は重点課題となります。その課題解決にあたっては、「公共施設の再編」および「大規模団地の再生と連携したまちづくり」が、重要な取組となります。

○そこで、2つの取組を「重点まちづくり」と位置づけ、具体的な整備方針を取りまとめるために、重点まちづくり構想の策定を目指します。

○③～⑥、⑧～⑪の取組については、重点まちづくりにとって、欠かすこのできない取組となるため、分野横断的に取組を進めて行きます。

(2) 構想策定の体制

○国立市では、市民と協働で重点構想の検討を進めていきます、さらに、新たな知見を取り入れながら、超高齢社会・人口減少社会のまちづくり、国立らしいまちづくりのモデルとなる取組を進めて行くために、東京大学との共同研究体制を組んで検討を進めていきます。



(3) 構想策定のステップ

○3カ年、令和2(2020)年度の策定をめざします。



5 重点構想の作成にあたっての進め方

○富士見台地域重点まちづくりは、超高齢社会・人口減少社会のまちづくり、国立らしいまちづくりのモデルとなる取組をめざすものです。

○そのためには、暮らしの主役である市民が、市と協力しながら取組を進めて行くことが不可欠になります。

○そこで、市民による重点構想づくりが可能となる進め方を基本とします。

6 市民による重点構想の検討の全体像

